

延養亭からの景色

延養亭からの景色は岡山県が定めた建築規則によって保護されています。園外でも、ここから眺める景観を遮ったり、損ねたりするような建築物の建設は禁止になっています。公共の庭園の景色を保護する取り組みは、日本中の同様の取り組みの先駆けでした。延養亭は、背景にある操山の借景のみならず、芝生、沢の池、唯心山など、後樂園の特徴となるような主だった場所をきれいに見渡せるようになっています。

この場所から眺める中秋の名月（秋の満月）は、9月から10月にかけて、周辺の山々を背景に、操山の背後から上ります。

延養亭は年に数回公開されます。障子を開けて眺める景色には奥行きが感じられます。園の景色を最高に楽しむことのできる場所は、障子の反対側にある床の間の前です。障子が開いている時には、花葉の池や二色が岡の林が右側に見えます。茂みの後ろに少し隠れている三角岩がこの建物の東側の外にあり、建物内から眺める景色と同じ景色が見られる場所を指しています。